

# 「王子駅周辺まちづくりグランドデザイン（案）」パブリックコメント実施結果

## ①パブリックコメントの概要

意見提出期間：平成29年5月1日（月曜日）～平成29年5月31日（水曜日）

意見提出者数：9名（内訳）持参：2名、郵送：0名、FAX：0名、ホームページ：4名、メール：3名

意見件数：39件

周知方法：北区ニュース5月1日号、北区ホームページ

閲覧場所：王子まちづくり担当課窓口、区政資料室、地域振興室、図書館、北区ホームページ

## ②パブリックコメントによる内容の修正箇所

掲載箇所	修正前	修正後
本編28ページ 概要版6ページ （説明文）	「国内外から人が集まるまち」の実現に向けて、王子のまちの優位性のひとつである交通結節機能を強化し、活力あるまちを実現します。このため、車や人などの交通流動を適切に処理し、駅施設や駅前広場、それらの間を繋ぐ動線となる空間などの整備により、乗換え利便性と歩行者空間の充実による <u>快適性の向上</u> を図ります。	「国内外から人が集まるまち」の実現に向けて、王子のまちの優位性のひとつである交通結節機能を強化し、活力あるまちを実現します。このため、車や人などの交通流動を適切に処理し、駅施設や駅前広場、それらの間を繋ぐ動線となる空間などの整備により、乗換え利便性と歩行者空間の充実による <u>快適性・安全性の向上</u> を図ります。
本編29・37ページ 概要版7ページ （展開施策案1-6）	歩行者空間の拡充等による <u>快適性の向上</u>	歩行者空間の拡充等による <u>快適性・安全性の向上</u>

### ③提出された意見の要旨と区の考え方

- ・ご紹介するご意見は、プライバシーの関係上、いただいた住所、氏名は掲載いたしません。
- ・ご意見は、一人の方から複数のご意見をいただいたものもありますので、項目別に要旨としてまとめさせていただきました。

1. 交通拠点機能の強化、駅前整備に関して 12 件		
番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	駅前の居酒屋やパチンコ店の周辺は後ろの公園が全く機能していないので、できるならバスターミナルと絡めてまとめて再開発できたら素晴らしいと思う。	<p>本案では、まちの将来像実現に向けて、王子のまちの優位性のひとつである交通結節機能を強化し、駅の利便性の向上や、王子ならではの資源を活かした個性的な駅前の顔づくりを、まちづくりの方向性として掲げています。</p> <p>ご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
2	使いにくく景観の悪い駅前をバリアフリー化はもちろんのこと整備をお願いし、駅前の活性化を希望する。 区民の、近隣の方の自慢の王子駅になりますよう宜しくお願いする。	
3	「2-4 安全で快適な自転車通行空間の整備」については、通行空間の確保だけでなく、世田谷区など幾つかの区で既に導入が図られ成功している都市型レンタサイクルの導入を計画化して頂きたい。	都市型レンタサイクルの導入については、他自治体の導入事例を参考に、地域の実態や、利用ニーズを見極めたうえで、検討してまいります。
4	「3 駅の利便性の向上」については、多くの公共交通の結節点となっていることを十分考慮し、公共交通利用者・事業者の参画も得ながら取り組むべきである。	<p>本案の検討にあたっては、鉄道事業者を始めとする関係事業者や地権者を委員として構成する、グランドデザイン策定検討会にて検討を重ねました。</p> <p>今後、新庁舎の整備を含む駅前地区を中心とした先行実施地区から、事業に着手してまいります。地権者や関係事業者との合意形成を図ったうえで、可能なものから段階的に事業を進めてまいります。</p>
5	「交通拠点機能の強化」と「防災性の向上」は優先すべき課題であり、全体的に短期の事業とされているのはよい。しかしながら、「3 駅の利便性の向上」が中期の事業とされている。駅の利便性の向上は王子の交通拠点機能の強化の要である、鉄軌道間の乗換に直結する課題であるため、短期で最優先に取り組むべきである。	

番号	ご意見の要旨	区の考え方
6	<p>課題として「多様な交通手段をつなぐ乗換え動線が、狭い歩行者空間に錯綜している」が挙げられているが、この大きな要因は明治通り・北口駅前広場による南北の分断にある。南北の分断の解消、特に迂回しないバリアフリールート確保を喫緊の課題として取り組むべきであり、これにより交通結節に関する問題の大部分は解決する。</p>	<p>JR や幹線道路等によるまちの分断は、王子駅周辺が抱える大きな課題のひとつであると認識しています。本案では課題の解消にむけて、デッキ・地上レベル等による歩車分離、乗換え利便性、まちへのアクセス性の向上や、歩行者空間の拡充等による快適性・安全性の向上を図ることとしています。</p>
7	<p>交通拠点機能の強化は、王子の弱点の克服と優位性の強化を同時に図る最優先課題であり、特に公共交通の乗降や乗換に関わる「1-2」「2-1」「3」は最重要と考える。</p> <p>重要なのは駅の南北を結ぶ通路機能である。王子駅北口と中央口を直結するバリアフリールートは最優先で確保すべきであり、以下の方策を検討すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅前広場の歩行者空間を拡充する。</li> <li>• 地下鉄通路を利用し、サンスクエア側にもエレベータを設置して南北をつなぐ自由通路とする。</li> <li>• 明治通りに北口と中央口を直結する横断歩道・信号を設置する。</li> </ul>	<p>具体的な整備の手法につきましては、技術的な課題なども整理をしたうえで、今後検討してまいります。</p>

番号	ご意見の要旨	区の考え方
8	王子駅東口前にある歩道橋を広大なオープンデッキに変えて、JR王子駅2階改札口(北口、中央口)と、新北区役所口と、バス降り口と接続し、さらに飛鳥山口、音無親水公園出口も設ける。	駅の利便性の向上の実現にあたっては、東京都や地権者、関係事業者との合意形成を図ったうえで、短期・中期・長期と段階的に事業を進めてまいります。ご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
9	音無親水公園と飛鳥山を直接歩いて往復できる歩道橋を新設する提案である。音無親水公園と飛鳥山は魅力的な場所であり、場所が近いにもかかわらず、音無親水公園と飛鳥山の間を行き来するには、王子駅東口の歩道橋を渡るか、飛鳥山交差点の歩道橋を渡るのが最短ルートで、どちらも大変大回りになり不便である。	
10	課題解決のためには、例えば、線路上空間の活用と駅をまたぐ歩行者デッキの整備等で西側の緑と北側のにぎわいをつないだり、北側は大規模商業ビル・ホテル等を誘致したり、さらには北口～商業ビル～ホテル～北とぴあ～新庁舎を回遊する立体プロムナードを整備すること等で、王子の特徴を活かしながら、働く・住む・集う・楽しむ等様々な場面において、さらに魅力あるまちへと進化していくと思う。	
11	誰もが快適、安全に乗り換えができる駅前の整備の実現を図るためには、駅前広場機能の拡大を含む、街、駅、道を一体空間として再編する基盤整備計画が必要と考える。	
12	まちの将来像に掲げられた「交流の場」を実現していくにあたって、近隣の居住者としては、歩行者の安全性にもう少し配慮が必要と思う。「歩行者の安全性」を明記し、ハード面の対策とともに、駅前には自転車の通行を制限するなど、駅周辺空間を管理するための新たなルール設定も併せて検討をお願いしたい。	歩行者の安全性については「まちづくりの方向性」として、「誰もが快適・安全に乗り換えができる駅前の整備」として言及しておりますが、いただいたご意見を踏まえ、記載を追記しました。 P28 乗換え利便性と歩行者空間の充実による快適性・安全性の向上を図ります。 P29及びP37 展開施策案1-6 歩行者空間の拡充等による快適性・安全性の向上 なお、新たなルールの設定につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

## 2. にぎわいと活力の創出に関して 6 件

番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	王子は、「江戸情緒」を押し出して外国人観光客が訪れる街を目指してはどうか。日本文化を全面に押し出すのはいかがか。	飛鳥山や石神井川など、王子が「多様なにぎわい・交流の場」「産業・商業の場」として発展してきた歴史的経過を踏まえ、周辺拠点との差別化や、王子の優位性を活かした、個性的な駅前顔づくりなどを進めてまいります。ご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
2	赤羽は飲み屋さんの街のようなイメージなので王子は「おでん」とかではなくカフェや、トラムのレトロさに便乗して純喫茶などをたくさん集めて人に優しい寛げる街にしてはどうか。	
3	魅力のある駅前作りができれば話題のお店が出店して、若い世帯も住んでくれると思う。桜の名所として中目黒にも負けない集客力になると思う。一年を通じて自然は武器になると思う。	
4	超高層再開発ビルの建て替え、駐輪場の増設を行い、王子を商業的に発展させる。各施設はおしゃれなデザインを心がけ、外灯や植栽、街路樹を増やしてわくわくする都市王子にする。	
5	都電の周辺（埋め立てた川の辺り）景観が悪すぎるので整備して移動式カフェや屋台などに来てもらうなどすれば広場も使えるようになり費用もかからないのではないか。芝生のあるスペースがあれば子供たちも集えて年配の方もひと休みできる。	都電停留所の周辺を含めた、王子駅前の風景は交通広場や交通量の多い道路があり、建物も含めて、統一性のない景観となっていることは、ひとつの課題と認識しています。 埋め立てた川の周辺についても、今後の整備計画を検討するなかで活用を検討してまいります。
6	「7-3 宿泊施設の立地誘導」は、王子には不要と考える。日暮里～上野界隈は東京屈指の宿泊街であり、赤羽や池袋にも宿泊施設は多いのだから、これらの地区と差別化・連携を図るのであれば、宿泊機能はこれらの地区に任せるべきである。	王子のまちの将来像や目標とするまちとして掲げている「国内外から人が集まるまち」の実現に向けては、宿泊施設の立地誘導は有効な施策のひとつと考えております。

### 3. 自然、文化、歴史資源の活用に関して 5 件

番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	王子は駅近に飛鳥山や親水公園など自然に恵まれている事が最大の魅力なので、単純に駅ビルではなく、駅を降りた瞬間から開放感のある広場や公園が見渡せたり、街路樹を植え、ベンチやテラスを作り、お年寄りや子供たちの集える商店街に生まれ変わって欲しい。	飛鳥山や音無川親水公園など、多くの自然が駅直近に点在していることは、王子の大きな優位性のひとつであると考えています。 今後のまちづくりにあたっては、王子のまちの発展の礎となった自然を積極的に活用した、王子ならではの特徴をもったまちづくりを進めてまいります。
2	「10-3 貨物線廃線跡地などの産業遺産の活用」の対象である旧北王子支線は、舗装せずにレールと枕木を残し、トロッコ等も走行できる空間として活用して頂きたい。	旧北王子支線跡地の活用にあたっては、北区中期計画（平成29年度～31年度版）でも計画事業として位置付けており、整備にあたっては、いただいたご意見も参考に、鉄道の面影を残した遊歩道として設計等の検討を進めてまいります。
3	「10-4 石神井川の臭気対策」は周辺住民にとっては最優先で解決願いたい課題であり、短期とされている「10-5」や「11」を後回しにしてでも順位を上げ、短期で取り組むべきである。臭気を解決しなければ、河川を活用した散策や観光にも支障が生じる。	石神井川の臭気対策については、王子駅周辺の最重要課題のひとつとして認識しております。今後も引き続き東京都と連携をしながら、合流式下水道の改善などを図るとともに、新たな技術の導入など、さらなる効果的な手法を検討し、早期解決に向け、積極的に取り組んでまいります。
4	飛鳥山の森は植栽がきれいではなく、桜の季節以外はあまり人が立ち寄らない。ちなみに横浜の公園はどれも緑の植栽がきれいで、遊歩道がきれいに整備されてる。名主の滝公園も含めて、綺麗に整備していただけることを期待する。	王子のまちの発展の礎となった飛鳥山をはじめとする駅周辺の自然を積極的に活用したまちづくりを進めてまいります。 なお、北区中期計画（平成29年度～31年度）では、名主の滝公園の再生整備を計画事業として位置付けております。
5	北区は公園管理の指定管理への移行を計画されていると聞くと、少なくとも飛鳥山公園、音無川親水公園、名主の滝公園等を含む本ブランドデザインに関わる公園については、その発注条件において、他の児童公園などの管理とは区別する必要がある。 ランドデザインの実施にあたり、足かせとなることのないように配慮されたい。	公園管理への指定管理者制度の導入につきましては「経営改革プラン2015」において位置づけており、平成29年度は指定管理者の導入に向けた課題の整理や基準、効果などを検討しているところです。 本案では、飛鳥山公園や音無川親水公園などが位置するエリアを、自然・文化・歴史資源を積極的に活用し、新たなまちづくりを進めることとしていることから、こうした方針とも整合を図りながら指定管理者制度の導入を検討してまいります。

4. 防災性の向上に関して 1 件

番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	<p>「13 防災拠点機能強化の視点を踏まえた新庁舎整備」「16 大規模水害に備えたまちづくりの推進」については、区庁舎が現在地よりも水害に脆弱な用地に移転することを十分に覚悟して事に当たるべきである。水害は宿命と考えるべきで、水没しても災害対策本部として機能するよう、防災計画（風水害編）の見直しと訓練の積み重ねが必要である。合わせて、高台への避難を前提としている洪水ハザードマップの見直しも必要である。</p>	<p>新庁舎建設予定地は水害対策が必要ではありますが、垂直避難施設とすることが可能であることや、統合型庁舎とすることで、機動的な連携が可能となるなどの利点があることから、今後、新庁舎建設基本計画策定の中で、いただいたご意見も踏まえて、防災面の配慮等について検討してまいります。</p> <p>また、災害対策本部につきましては、現行の地域防災計画のなかで、本庁舎に本部設置が不可能なときは、防災センター（西ヶ原2-1-6）に設置するとしています。今後、防災拠点機能のあり方を整理するなかで、関係計画等も含め整理をしてまいります。</p>

## 5. 新庁舎に関して 4 件

番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	北区行政は、庁舎建設だけで終わらせようとしている。	区では、新庁舎の整備を、王子駅周辺まちづくりの重要な核となる事業のひとつとして位置付け、新庁舎の整備を含む駅前地区を中心とした先行実施地区から、事業着手を図り、駅周辺が抱える様々な課題の解決や、王子の将来像の実現に向けて取り組んでまいります。
2	<p>新庁舎移転だけでは賑わいは生まれにくい。新庁舎の建設コンセプトは従来求められてきた機能性、防災拠点という観点に加え、近接する民間事業者、地権者と共存共栄し、一体となった賑わいを生み出す空間づくりの視点を持つべき。</p> <p>道路を隔てて新庁舎と近接地が分断され、賑わいを途絶えさせることは避けるべきであり、道路上空を活用するなど、多様な方策を検討すべきである。</p> <p>またこれらを含め、新庁舎の規模、建設方式についても多様な考え方を導入し、計画されるべきである。</p>	<p>新庁舎の整備にあたっては、人々の交流を促進し、にぎわいの創出の視点を踏まえて進めることとしております。</p> <p>今後、関係する地権者等と十分な協議を進め合意形成を図ったうえで、王子駅前や新庁舎建設予定地を含むエリアを対象に「(仮称)王子駅前整備計画」を策定し、にぎわいと活力の創出に努めてまいります。</p> <p>また、新庁舎の規模や具体的な建設方式等につきましては、今後「新庁舎建設基本計画」策定の中で検討してまいります。</p>
3	印刷局の上空権を譲渡して貰い、区役所庁舎の高層化を可能とさせる。このインセンティブで開発業者に魅力的な再開発事業を実施させる。	<p>国立印刷局王子工場とは、新庁舎建設後も共存共栄を基本として、駅周辺のにぎわいの創出や災害時における連携を進めていくこととしております。</p> <p>ご意見につきましては、国立印刷局王子工場の業務の性質上、難しいものと考えますが、今後とも国立印刷局との情報共有に努め、連携して対応してまいります。</p>
4	新庁舎整備にあたって、防災拠点としての機能を強化するとの考えに賛同いたします。新庁舎整備にあたり、コージェネレーションによる分散型エネルギーを導入するとともに、面的ネットワークにより、高度な防災拠点の形成へと進めていただくことを期待しております。	今後、新庁舎基本計画策定の中で、防災面の配慮等について検討してまいります。



6. その他のご意見 11 件

番号	ご意見の要旨	区の考え方
1	印刷局側とサンスクエアが開発が進んで、柳小路だけは戦後のままか。きちんと都市再開発法などの法律に基づいて、ご検討頂く最初で最後のタイミングではないか。	王子駅周辺のまちづくりにあたっては、今後、新庁舎の整備を含む駅前地区を中心とした先行実施地区から、事業に着手してまいります。地権者や関係事業者との合意形成を図ったうえで、可能なものから段階的に事業を進めてまいります。
2	駅自体通路が狭く使いにくいので JR には駅の増築、改修を早めに望む。	本案では、王子のまちの優位性のひとつである、交通拠点機能を強化し、活力あるまちを実現するために、まちづくりの方向性のひとつとして「駅の利便性の向上」を掲げています。 今後、いただいたご意見を関係事業者に伝えるとともに、継続して協議を進め、駅の利便性の向上に取り組んでまいります。
3	「4 まちづくりの基本的な考え方」で首都圏広域地方計画が唐突に紹介されている。本計画は国土形成計画法に基づく国の上位計画で、北区はもちろん、東京都の都市計画の方向性を示すものであり、本文でかなり引用されている以上、「ランドデザインの位置づけ」の図の中に明記しておく必要がある。	本案では、東京の北部エリア全体の活性化を見据えた王子駅の在り方について検討を行い、国土交通省が策定している首都圏広域地方計画における、個性ある拠点と「対流」の考え方を取り入れたものです。 ランドデザインは行政計画として王子の将来像を示すものであることから、首都圏広域地方計画を上位計画として位置付ける必要はないものと考えております。
4	「赤羽とは連携・共存共栄を図り、日暮里・池袋とは差別化」という表現は、北区内だけで共存共栄を図って他区に競争を仕掛けるかのように読め、特に日暮里・池袋の住民に不快感を与えかねない。それぞれの地区が個性を伸ばして差別化を図ることが、同時に連携の必要性を高めることにもなり、赤羽・日暮里・池袋すべてと差別化を図りながら連携していくべきである。	本案では、東京の北部エリア全体の活性化を見据え、池袋や日暮里など、他の拠点との差別化・役割分担を図りながら、ともに切磋琢磨することを想定しており、ご指摘の「差別化を図りながら連携していくべき」という趣旨は含まれているものと考えています。

番号	ご意見の要旨	区の考え方
5	<p>「みんなで守り・創るまち」に対応する「4 展開施策案」が「15 住民参加の防災まちづくりの推進」しかなく、実質的にないに等しい。将来像の目標の1つにすることには賛成だが、区民以下関係者の連携・協力の仕組みを施策として「4 展開施策案」又は第4章に記載すべきである。</p>	<p>本案では「みんなで守り・創るまち」を実現するための「まちづくりの基本方針」として「防災性の向上」を示しています。</p> <p>方向性として、木造住宅密集地域における防災性及び災害対応力の強化などを示しているほか、展開施策案として「住民参加の防災まちづくりの推進」を掲げており、ご指摘の趣旨は含まれているものと考えています。</p>
6	<p>全体として、単に課題が列挙されているだけで、展開施策とはいえない。</p>	<p>本案では、王子が抱える課題の解決や、王子の将来像を実現するための、まちづくりの基本方針や、方向性を定め、これらを実現するための展開施策案を示しています。</p> <p>今後は、優先的に整備すべき先行実施地区の範囲を特定した上で、具体的な事業化を検討してまいります。</p>
7	<p>本ランドデザインの策定過程に、公募型の区民参加の場はもちろんのこと、対象地域に居住する住民が参加する場さえも一切確保されなかったことは遺憾である。世田谷区庁舎については基本構想段階から直接意見交換ができるのに対し、私の居住地が対象に含まれる本ランドデザインに、直接意見を言う場がこのパブコメしかないことには、矛盾を感じている。</p>	<p>本案の検討にあたっては、地域代表として、王子駅周辺の町会自治会からの代表のほか、商店街等産業団体からの代表等により構成する、ランドデザイン策定検討会にて検討を重ねてまいりました。</p> <p>今後、「(仮称)王子駅前整備計画」の策定など、具体的に事業を進めるにあたっては、いただいたご意見も参考にして、進めてまいります。</p>
8	<p>新庁舎の建設と王子駅の整備及び駅周辺まちづくりは、すべての区民生活に影響する北区最大のビッグプロジェクトであるとの認識を区職員が持ち、対象地域の居住者は当然のこと、区内在住・在勤者の誰もが参加できるまちづくりの意見交換・ワークショップ等の場を設け、丁寧な議論を重ねていくべきである。</p>	

番号	ご意見の要旨	区の考え方
9	<p>今後、「まちづくりガイドライン」や、先行実施地区における「(仮称)王子駅前整備計画」を策定するとされているが、任意の計画ではなく、できる限り法律の枠組みを活用した法定計画とすべきである。その方が住民・関係者の参画の場の担保や、様々な補助・支援制度の活用などで有利である。具体的には以下の法定計画の枠組みを活用することを提案したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域公共交通網形成計画、地域公共交通再編実施計画（地域公共交通の活性化及び再生に関する法律）</li> <li>• 北区景観づくり計画（景観法）</li> <li>• 北区バリアフリー基本構想（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）</li> <li>• 北区都市計画マスタープラン（都市計画法）</li> </ul>	<p>ランドデザインは、東京都の上位計画、北区基本構想、北区都市計画マスタープラン、その他まちづくり関連の個別マスタープラン等の体系の一部に位置づけられ、王子の「まちの将来像」や「まちづくりの基本方針と方向性」を定めた行政計画として策定しています。</p> <p>なお、ご提案いただきました「北区景観づくり計画」における JR王子駅周辺の景観形成方針地区の重点地区への移行や北区バリアフリー基本構想における王子地区の地区別構想、北区都市計画マスタープランへの位置付けについては、今後、区民の皆さまや専門家のご意見等を伺いながら検討してまいります。</p>
10	<p>整備計画策定は、「歩行者の安全性」について一定期間の定点観測を行うなど、実態をしっかりと把握してすすめてください。</p>	<p>(仮称)王子駅前整備計画の策定にあたっては、自動車や歩行者等の交通量調査などを実施し、実態を把握したうえで検討を進めてまいります。</p>
11	<p>区には、地権者との共存共栄の精神のもと、早期に民間サウンディングを実施するなど、適切な事業手法を検討されるとともに、都市再開発を主体的に行う組織編成を伴う基本計画の策定により、ランドデザイン実現に向けた歩みを、着実に進めていただきたい。</p>	<p>今後、新庁舎の整備を含む駅前地区を中心とした先行実施地区から、事業に着手してまいります。地権者や関係事業者との合意形成を図ったうえで、可能なものから段階的に事業を進め、ランドデザインに掲げる「まちの将来像」実現に向けて、着実にまちづくりを進めてまいります。</p>